

2021 年度 制御工学 I 第 3 回レポート (模範解答)

4 年 E 科 番号 _____ 氏名 _____

[問題 1]

回転体の慣性モーメント J , 粘性摩擦係数 B , トルク τ , 回転角速度 ω とする。回転運動の方程式

$$\tau(t) = J \frac{d\omega(t)}{dt} + B\omega(t) \quad (1)$$

を入力 $\tau(t)$ から出力 $\omega(t)$ までの伝達関数を求めよ。

【解答】

$$\mathcal{L}[\tau(t)] = T(s), \mathcal{L}[\omega(t)] = \Omega(s) \quad (2)$$

と定義して, ラプラス変換すると

$$\begin{aligned} T(s) &= Js\Omega(s) + B\Omega(s) \\ &= (Js + B)\Omega(s) \end{aligned} \quad (3)$$

よって,

$$\frac{\Omega(s)}{T(s)} = \frac{1}{Js + B} \quad (4)$$

[問題 2]

RL 回路の回路方程式

$$Ri(t) + L \frac{di(t)}{dt} = E(t) \quad (5)$$

において, 入力 $E(t)$ [V] から出力 $i(t)$ [A] までの伝達関数を求めよ。

【解答】

$$\mathcal{L}[i(t)] = I(s), \mathcal{L}[E(t)] = E(s) \quad (6)$$

と定義して, ラプラス変換すると

$$\begin{aligned} RI(s) + LsI(s) &= E(s) \\ (R + Ls)I(s) &= E(s) \end{aligned} \quad (7)$$

よって,

$$\frac{I(s)}{E(s)} = \frac{1}{Ls + R} \quad (8)$$

[問題 3] 教科書【例 2.12】(p. 24-25) の磁気浮上系について, 線形化された方程式が

$$M \frac{d^2 \Delta x(t)}{dt^2} = K_x \Delta x(t) - K_i \Delta i(t) \quad (9)$$

$$L \frac{d\Delta i(t)}{dt} + R\Delta i(t) = \Delta e(t) \quad (10)$$

で与えられている。以下の問いに答えよ。

- (1) 入力電圧 $\Delta e(t)$ から入力電流 $\Delta i(t)$ までの伝達関数を求めよ。
- (2) 入力電流 $\Delta i(t)$ からギャップ $\Delta x(t)$ までの伝達関数を求めよ。
- (3) 入力電圧 $\Delta e(t)$ からギャップ $\Delta x(t)$ までの伝達関数を求めよ。

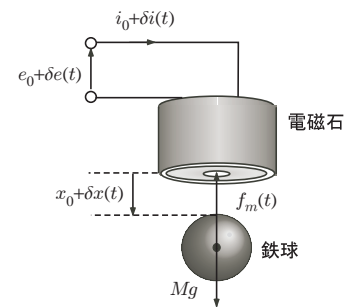


図 1: 磁気浮上系

【解答】

(1)

$$\mathcal{L}[\Delta i(t)] = I(s), \mathcal{L}[\Delta e(t)] = E(s), \mathcal{L}[\Delta x(t)] = X(s) \quad (11)$$

と定義して, 式 (10) をラプラス変換すると

$$LI(s)s + RI(s) = E(s) \quad (12)$$

となる。よって, 以下のようになる。

$$\frac{I(s)}{E(s)} = \frac{1}{Ls + R} \quad (13)$$

(2) 式 (9) をラプラス変換すると

$$MX(s)s^2 = K_x X(s) - K_i I(s) \quad (14)$$

となる。よって, 以下のようになる。

$$\frac{X(s)}{I(s)} = \frac{-K_i}{Ms^2 - K_x} \quad (15)$$

(3) 式 (13), (15) から

$$\frac{X(s)}{E(s)} = \frac{X(s) I(s)}{I(s) E(s)} = \frac{-K_i}{Ms^2 - K_x} \frac{1}{Ls + R} \quad (16)$$

を得る。よって、定常状態における入力電圧からギャップの変化までの伝達関数 $G(s)$ は

$$\underline{\underline{G(s) = \frac{X(s)}{E(s)} = \frac{-K_i}{(Ms^2 - K_x)(Ls + R)}}} \quad (17)$$

と求まる。